

東秩父村移住促進住宅建設事業住民説明会報告書

○開催日時 平成30年8月31日（金）19:00～20:00

○開催場所 東秩父村役場庁舎 2階 大会議室

○出席者

奥沢下区住民 10名

東秩父村

東秩父村長 足立 理助

企画財政課長 眞下 哲也

企画財政課主幹 江原 章文

企画財政課主任 吉田 真之（担当者）

○あいさつ

東秩父村長 足立 理助

○事業説明

企画財政課主任吉田より説明

○質疑応答

【地元住民】

移住体験施設については、奥沢に建設中の1棟ですか。

【担当者】

当初計画では数棟建設の計画であったが、候補の建物がないことと、建設コストが膨大となることから、現状1棟のみの建設となります。

【地元住民】

移住促進住宅の補助金額が少ないと思うが、残りの費用については村からの持出しとなるのでしょうか。

【担当者】

現在、事業に合致する補助金を探しているところではあるが、見つかっていません。

残りの事業費については村単とはなるが、過疎債を活用します。過疎債は借金となるが、7割は交付税として戻ってくるため、実質3割が村負担となり、村にとっては有利な借金となります。

【地元住民】

住宅は10世帯分の整備ということだが、満室となるのか疑問です。満室とするための努力をお願いしたい。

【担当者】

出来る限り、空き室がでないよう努めていきます。

補足として満室になることで、その後入居を希望する方に提供する部屋がなくなってしまう課題も残ります。そのため、必ずしも満室状態を維持することが目的ではないことをご理解いただきたい。

【地元住民】

図面下半分が空き地になっているが、そこはどうする予定ですか。

【担当者】

10世帯すべて満室となった場合、新たな住宅を建設できるよう建設予定地として残しています。建物配置等についてもご意見をいただければできるだけ希望に沿った形で事業を実施していきたいと考えています。

【地元住民】

敷地内への進入路はどこになる予定ですか。

【担当者】

県道方面からと考えています。場所としては、現在、ブドウ園の倉庫がある場所からの進入を想定しています。

【地元住民】

どういった人をターゲットとしているのでしょうか。

【担当者】

現在のところ、20代から40代までの子育て世帯をターゲットとしています。

【地元住民】

子育て世帯の募集となった場合、様々なサービス提供による魅力がないと難しいのではないかと。子育て、教育等、村の魅力発信に対する計画を教えて欲しい。

【担当者】

本村では、東秩父村まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、よりよい村とするための計画はございます。それを確実に実施していきたいと考えています。

【地元住民】

移住を希望する人のニーズ調査はどうなっているのでしょうか。

【担当者】

近隣ときがわ町では直近1年間の実績で移住体験施設利用者が3組移住しており、いずれも賃貸アパートへ入居しつつ家探しをしている状況です。

本村では、坂本地内に建設される特別養護老人ホーム従事者と村内事業所にアンケート調査を行いました。結果については、特別養護老人ホームで9名の移住希望と村内事業所で4名で計13名の移住希望があることを把握しました。

【地元住民】

住宅裏側の村道について、拡張の予定はあるのでしょうか。

【担当者】

村道側からの自動車による出入りを想定していないため、当該村道の拡張予定はございません。

【地元住民】

入居期間はどうかしているのでしょうか。ずっと住み続けてよいのか確認したい。

【担当者】

現在検討中です。

定期借家契約とすれば、役場で入居期間を制限することは可能となりますが、完成までに決定します。

【地元住民】

いわゆる地区の組合活動への関わりはどう考えているのでしょうか。

【担当者】

現在検討中です。

地域の付き合いに関わりたい人もいれば、関わりたくない人もいますが、村営住宅入居者は、地域に綿密に関わる人もいます。

地域への関わり方については、地域の皆様と一緒に考えていきたいと考えています。

村としては、入居者には、地域の方と関わってってもらいたいと考えています。

入居審査については役場で行うため、村の現状等を説明し、今後、決定した事項について理解を求めていきたいと考えています。

【地元住民】

消防署の照明灯による苦情が多少あるようだが、敷地内の照明灯はどういったものをどれくらい配置する予定ですか。夜間、虫が集まるのが心配です。

【担当者】

淡いオレンジの様な色で配置する予定です。詳細は決まっていないが、虫が多く寄り付かない仕様の照明灯を検討します。

【地元住民】

現在あるゴミ集積所はどうなるのでしょうか。

【担当者】

現在検討中であるが、進入路がブドウ園倉庫あたりとなると、既存の集積所については場所が支障となる可能性があります。

移住促進住宅敷地内のゴミについては、敷地内専用のゴミ集積所を設置する予定です。

【地元住民】

まち・ひと・しごと創生総合戦略の生活環境の改善とあり、交通・買い物の利便性向上とあるが、具体的にはどういった内容なのでしょうか。計画内容を教えてもらいたい。

【担当者】

住宅建設事業を中心に、生活環境の改善を行っていくものではないため、直接的な関係はないが、利便性の向上も移住者増加には必要なことと考えています。

【村長】

東秩父村のみならず全国的な地方では、人口の減少は避けられる状況ではないと考えています。それにより、本村では、国の指針により、小さな拠点づくりを進めています。

J A直売所移転については、様々批判があったが、実際は売上160%増となっています。

そういったことから、課題に対して何らかの対策を行い、支障があった場合には、解決しながら進めていきたい。

虫の話がでたが、消防署の照明灯については、自身で近隣世帯を確認したが、何ら問題ないと確認しています。

【地元住民】

人口ビジョンの数値があるが、何を根拠に出している数字なのでしょうか。

【村長】

何もしなければ間違いなく人口は減少していく。小さな拠点づくりを取り組むよう国から指示がでていますが、何もしなければこのグラフのとおりとなると考えています。

国立社会保障・人口問題研究所が算出したもので、総務省により、日本全体で一緒になってこの数値を参考に対策を考えています。その上で策定したものが東秩父村まち・ひと・しごと創生総合戦略であり、それに沿って努力することで、人口減少を緩やかにしていきたいと考えています。

○閉会

企画財政課長 眞下